

## 2026年度本試験分析

試験時間:70分 / 配点:100点

- 出題方針や求められる能力は特に変化がなかった。各大問の前半は知識・技能を問う内容が多く、手早く確実に処理することが前提となる。後半は「問題解決に向けて構想・見通しを立てること」「解決過程を振り返るなどして概念を形成・体系化すること」を問われ、思考力・判断力が要求される。
- 難易度よりも時間の足りなさの要素が大きい。第1問(2)、第3問、第4問それぞれの最後の設問は、共通テストでよく問われる振り返りの問題である。これらは、試験時間短縮に関わる問題である。第4問の最後の設問は、高得点者の中でも、差がついたと思われる。
- 第1問(2)(2)(ii)、第2問(1)(2)(ii)～(3)、第3問(2)(ii)、第4問(2)のような、条件を変えたときの状況を考察するというパターンが2026年度は頻出だった。
- 2025年度は、新課程で追加された「外れ値」「仮説検定の考え方」「期待値」についてすべて出題されていたが、2026年度は「外れ値」のみ出題された。第2問(2)(3)(i)の方程式をつくるような外れ値の問い方は新しい出題パターンであった。
- 第3問では、空間図形が2年連続で出題された。難易度調整のためか、図形問題を中心に誘導を丁寧にする傾向は2025年度と同様である。2026年度は文章量が多い大問・中間が増えたため、読み取りに時間がかかってしまった受験生が多かったと思われる。
- 2025年度にあった運動型(前の問題が正解のときのみ、採点対象になる)の採点単位間は2026年度はなかった。配点は2点から4点の間であり、配点1点の問題はなかった。複数の設問を完答して配点する傾向が2025年度から見られ、2026年度も継承している。なお、3択以下の選択問題は、隣接する設問との完答問題として設定されている。

## 2027年度共通テストにむけて

- 共通テストでは、大問の前半で正答を得られていても前問までの解決過程の振り返りを意識できていないと時間を費やしてしまうことがよく見られる。大問の後半の思考力・判断力を要する設問に対応するためにも、正答を得られただけで満足するのではなく「もっと工夫して効率よく計算できないか」「この結果をもとに、何か新しいことが言えないか」のように掘り下げて考える習慣を普段の学習から身につけておきたい。
- 高得点を目指すのであれば、本番よりも高いレベルの問題での演習が必要。11月までは、時間を気にせず、上記を意識して解いてみる。12月以降は、どの問題を先に手を付けるのかなど、時間を意識した演習をするなど、時期や目標に合わせて使用の仕方を変えて演習を進めるのもよい。
- 共通テスト対策書籍を利用するときも、「正答を得られた問題であっても必ず解答解説を確認すること」「時間内に解けなかった問題も解答解説を見る前に解いておくこと」が特に重要となる。試験時間内で解答する演習だけでなく、じっくりと考えた上で詳しい解答解説で振り返る時間を設けられるとよい。

## 2026年度本試験

平均点 47.20点

| 大問 | 分野         | テーマ  | 平均得点率  |
|----|------------|--|--------|
| 1  | [1] 数と式    | 公約数によって定められる集合について考察する                       | 69.11% |
|    | [2] 図形と計量  | 四角形の面積の求め方を利用して、円の接線から作られる三角形の辺の長さ求める        | 46.71% |
| 2  | [1] 二次関数   | 最大値や最小値の条件をもとに、2次関数を決定する                     | 62.09% |
|    | [2] データの分析 | 水泳のタイムのデータを題材に、相関係数や外れ値の計算や、散布図・箱ひげ図の読み取りを行う | 51.82% |
| 3  | 図形の性質      | 三角錐の体積を、様々な図形の性質を使い分けたり、適切な平面に着目して考察する       | 32.42% |
| 4  | 場合の数と確率    | リーグ戦で優勝する確率を、3人の場合と4人の場合で考察する                | 36.89% |

## 2025年度本試験

平均点 53.51点

| 大問 | 分野         | テーマ  | 平均得点率  |
|----|------------|--|--------|
| 1  | [1] 数と式    | 文字係数の2次方程式を題材に、文字定数を含む因数分解、2次方程式の解法、必要条件・十分条件についての知識・技能を問う     | 70.69% |
|    | [2] 図形と計量  | 2円の交点と2円の共通外接線の接点でできる二つの三角形を考察する                               | 57.74% |
| 2  | [1] 二次関数   | 噴水がえがく放物線を題材とし、噴水の水の出る位置をどのように変更すればよいか考察する                     | 41.23% |
|    | [2] データの分析 | 都道府県別の日本人と外国人の宿泊者数に関するデータを題材に、データの分析の知識・技能を問う                  | 43.08% |
| 3  | 図形の性質      | 空間内にある五面体を題材に、平面上の相似や円の性質を使って図形量を求める。また、空間内の平面や直線の位置関係について考察する | 52.71% |
| 4  | 場合の数と確率    | くじ引きを題材にした確率の問題で、主催者の立場でくじ引きの参加料の妥当額を考察する                      | 58.54% |

## 2024年度本試験

平均点 51.38点

| 大問 | 分野         | テーマ  | 平均得点率  |
|----|------------|--|--------|
| 1  | [1] 数と式    | 無理数の整数部分や小数部分の大きさを求める                                  | 66.93% |
|    | [2] 図形と計量  | 電柱の高さと影の長さの関係を考察する                                     | 47.43% |
| 2  | [1] 二次関数   | 台形の周上の点でつくられる三角形の面積について考察する                            | 40.51% |
|    | [2] データの分析 | 長距離競技のベストタイムについてのヒストグラム、箱ひげ図、散布図から、代表値や相関の強さなどの情報を読み取る | 76.17% |
| 3  | 場合の数と確率    | 箱の中にあるカードを1枚ずつ取り出し、すべての種類のカードがそろふ確率を求める                | 54.75% |
| 4  | 整数の性質      | $n$ 進数のタイマーについて、ある時間での表示や、複数のタイマーが同じ表示になる時間を考える        | 37.85% |
| 5  | 図形の性質      | 星形の図形について、辺の比や点の位置関係を調べる                               | 35.77% |

# 2027年用 パワーマックス共通テスト対応模試

## 編集方針

次の点を意識して制作しています。

- 2026年度本試験・追試験を踏まえて、今年度出題が想定される内容を幅広く扱うことで、どのような出題であっても動じることなく解き進める力を養います。
- 解答解説において、数学が苦手な生徒が読んだときにわかりにくそうな部分には説明を追加し、一人でも無理なく学習できるように配慮しています。
- 解答解説において、問題で省略されている計算部分の説明や研究内容も紹介し、数学が得意な生徒が発展的な学習ができるようにしています。



## 改訂のポイント

### 分量・難易度

2026年用の利用者の正答率も踏まえて、各回の分量・難易度を適切に設定しました。2026年度本試験・追試から分量・難易度が変化する可能性を踏まえて、各回の分量・難易度は一律にしていません。

### 新課程で追加された内容への対応

新課程で追加された「外れ値」「仮説検定の考え方」「期待値」を含む問題と含まない問題をバランスよく出題しました。

### 新作の問題

2026年度本試験・追試の出題内容を踏まえて、2026年用のパワーマックスから約2回分の問題を差し替えています。

### 幅広い出題内容

問題選定にあたっては、「空間図形」のようにここ数年の傾向に沿ったものに加え、しばらく出題のない内容についても取り上げるようにしておりますので、本書での演習を通じて様々な出題パターンに対応できるようになります。

## 数学I・A×8



定価  
1,045円(税込)  
B5判

問題編232ページ  
別冊解答・  
解説編128ページ

6月発刊

模試8回分を収録

## 数学I・A×5



定価  
902円(税込)  
B5判

問題編144ページ  
別冊解答・  
解説編80ページ

6月発刊

模試5回分を収録

『パワーマックス共通テスト対応模試×8』の第1回～第5回と共通の問題です。

## 数学I・A ハーフ+フル



定価  
1,045円(税込)  
B5判

問題編240ページ  
別冊解答・  
解説編152ページ

6月発刊

ハーフサイズ模試12回分+  
フルサイズ模試2回分を収録

『パワーマックス共通テスト対応模試×8』と共通の問題です。

表紙デザインは変更する場合があります

採用特典

▶P.41-42



Webダウンロード  
本文データ

納品形態

▶裏表紙

問題・解答ともバラシA可

学習診断サイト

▶P.39

# パワーマックス 出題一覧

2027年用パワーマックス数学I・Aに収録されている、おすすめ問題を「共通テスト対策教材特設ページ」にてご紹介!

特設ページはコチラ



■: 新作・改題を含む大問

## 第1回

| 大問 | 分野         | テーマ                           | 難易度 |
|----|------------|-------------------------------|-----|
| 1  | [1] 数と式    | 2次方程式の解の大小について考える             | 標準  |
|    | [2] 図形と計量  | ある条件下で三角形の頂点を動かすとき、高さの最大値を考える | やや易 |
| 2  | [1] 二次関数   | 自動車の速度と空走距離、制動距離の関係をそれぞれ調べる   | やや難 |
|    | [2] データの分析 | データを付け加えたときの平均、分散の変化を考察する     | やや易 |
| 3  | 図形の性質      | 等角共役やルモアース点について考察する           | 標準  |
| 4  | 場合の数と確率    | カギの番号に含まれる数字についての確率を求める       | やや易 |

## 第2回

| 大問 | 分野         | テーマ  | 難易度 |
|----|------------|--|-----|
| 1  | [1] 数と式    | ガウス記号を含む方程式に関する二つの条件について考察する                       | 標準  |
|    | [2] 図形と計量  | 正四面体と正四角錐を貼り合わせたときに五面体ができるかを調べる                    | やや難 |
| 2  | [1] 二次関数   | 文化祭で出店する模擬店の商品Aと商品Bの価格について考える                      | 標準  |
|    | [2] データの分析 | 幼児死亡率とはしかワクチンの接種率の関連性を考える                          | 標準  |
| 3  | 図形の性質      | 方程式の解を長さとする線分を作図する                                 | 標準  |
| 4  | 場合の数と確率    | カードを使った二つのゲームについて、目標に応じてどちらのゲームを選択すべきかを期待値を使って考察する | やや難 |

| 第3回 |            |  |     |
|-----|------------|--|-----|
| 大問  | 分野         | テーマ  | 難易度 |
| 1   | [1] 数と式    | 二つの2次方程式が共通解をもつ条件について考察する  | 標準  |
|     | [2] 図形と計量  | 鋭角三角形の辺上にある三つの点で作る三角形の周の長さについて考察する   | やや難 |
| 2   | [1] 二次関数   | 放物線と直線の共有点の個数について考察する  | やや難 |
|     | [2] データの分析 | 47都道府県の人口密度と65歳以上人口の割合についてのデータを題材に、外れ値、ヒストグラム、散布図の扱い方を確認する。また、仮説検定の考え方の理解を確認する | やや易 |
| 3   | 図形の性質      | 正四面体の辺上に四つの点があるとき、それらの点が同一平面上にある条件や、四つの点がつくる図形について考察する                         | やや難 |
| 4   | 場合の数と確率    | 数字が書かれたカードを何枚か取り出して小さい順に並べたとき、左端・右端にあるカードに書かれた数字の期待値を考察する                      | 標準  |

| 第4回 |            |   |     |
|-----|------------|---|-----|
| 大問  | 分野         | テーマ   | 難易度 |
| 1   | [1] 数と式    | 絶対値を含む不等式で定められた二つの条件について、必要条件・十分条件を考察する                             | やや難 |
|     | [2] 図形と計量  | 学校から見える山の高さを、測定した角度や距離から考察する  | やや難 |
| 2   | [1] 二次関数   | 放物線の形をした門について、条件を満たすものの高さの最小値を考える                                   | やや難 |
|     | [2] データの分析 | 52の都市におけるぎょうざの支出金額の年度比較、うなぎのかば焼きとの相関や関係について考察する。また、仮説検定の考え方の理解を確認する | 標準  |
| 3   | 図形の性質      | 三角形の辺と内接円、傍接円の接点が等距離共役点となっていることを確認する。ジュルゴンヌ点、ナーゲル点について考察する          | 難   |
| 4   | 場合の数と確率    | 天気の出現率と販売個数の期待値、出現率が異なる都市で期待値が等しくなる条件について考察する                       | 標準  |

| 第5回 |            |                                  |     |
|-----|------------|----------------------------------|-----|
| 大問  | 分野         | テーマ                              | 難易度 |
| 1   | [1] 数と式    | 有理数・無理数に関する命題について、真偽や、それらの関係を考える | 標準  |
|     | [2] 図形と計量  | 山頂の標高から地球の半径を求める方法を考える           | やや難 |
|     | [3] 図形と計量  | 中線の長さを三角形の三つの辺の長さで表す             | 標準  |
| 2   | [1] 二次関数   | 機内に持ち込めるカバンの容積の最大値を考察する          | 標準  |
|     | [2] データの分析 | 選挙に関する統計データから投票率が高くなる要素を考察する     | 標準  |
| 3   | 図形の性質      | 三角形の内部にある三つの四角形が同時に円に内接するかを調べる   | やや難 |
| 4   | 場合の数と確率    | あみだくじで当たる確率を大きくする横線の追加の仕方を考える    | やや易 |

| 第6回 |            |                                      |     |
|-----|------------|--------------------------------------|-----|
| 大問  | 分野         | テーマ                                  | 難易度 |
| 1   | [1] 数と式    | 分母の有理化、対称式の扱い方、必要条件・十分条件の考え方について確認する | 標準  |
|     | [2] 図形と計量  | ロボットアームで特定の位置にある部品をつまむときの角度を調べる      | 標準  |
| 2   | [1] 二次関数   | 売上総額ができるだけ大きくなるような価格の決め方を考える         | 標準  |
|     | [2] データの分析 | 都道府県の気候データを分析する                      | 標準  |
| 3   | 図形の性質      | 共通内接線・共通外接線の作図の仕方を考える                | やや難 |
| 4   | 場合の数と確率    | 踏切における待ち時間について、確率を用いて考える             | 標準  |

| 第7回 |            |   |     |
|-----|------------|---|-----|
| 大問  | 分野         | テーマ   | 難易度 |
| 1   | [1] 数と式    | 連立不等式の整数解が存在しない条件を考察する                        | 標準  |
|     | [2] 図形と計量  | 坂道からビルを見上げた角を計測した結果から、ビルの高さを求める               | やや難 |
|     | [3] 図形と計量  | 三角形の一つの内角の二等分線について、二等分線の長さと三角形の辺の長さとの関係を考察する  | 標準  |
| 2   | [1] 二次関数   | 最小二乗法を使って、ある実験のデータを2次関数に近似させる                 | 標準  |
|     | [2] データの分析 | 47都道府県の最高平均気温と最低平均気温の相関を考察する。気温上昇についての仮説を検定する | 標準  |
| 3   | 図形の性質      | 空間内の平行でない平面や、ある条件を満たす球面について考察する               | 標準  |
| 4   | 場合の数と確率    | コマを動かす操作について、コマがゴールするまでに必要な操作の回数の期待値を考察する     | やや難 |

| 第8回 |            |  |     |
|-----|------------|--|-----|
| 大問  | 分野         | テーマ  | 難易度 |
| 1   | [1] 数と式    | 絶対値記号を含む関数のグラフで作られる多角形について調べる                      | 標準  |
|     | [2] 図形と計量  | 歯科矯正について、二つの方法で矯正する回転角を求め、それらを比較する                 | 標準  |
| 2   | [1] 二次関数   | 12月～1月の日の出・日の入りの時刻について、2次関数による近似を用いて数式化し、冬至の日を推測する | 標準  |
|     | [2] データの分析 | コンビニでの売り上げ数から、適切な仕入れ数を分析する                         | やや難 |
| 3   | 図形の性質      | メネラウスの定理など様々な図形の定理・性質を活用して、調和点列を見出す                | 標準  |
| 4   | 場合の数と確率    | 三角錐、三角錐台の辺の塗り分け方について考察する                           | やや難 |